



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	雑報
Citation	北大法学論集, 52(6), 145-145
Issue Date	2002-02-28
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/15132
Type	other
File Information	52(6)_p145-145.pdf



北海道大学法学会記事

報告者 権左武志
出席者 二十三名

本報告の内容は、同じタイトルで、『思想』二〇〇二年第三号に公表される予定である。また本報告の原型をなすドイツ語原稿は、『北大法学論集』本号に掲載される。

○二〇〇一年九月二十七日(木) 午後一時半より

「戦後国土開発政策における中央地方関係——北海道・東北・沖縄の開発計画決定過程を事例として——」

報告者 山崎幹根
出席者 二十八名

○二〇〇一年三月二十二日(木) 午後二時半より

「貴族と憲法——ラッサール『既得権の理論』とシユミット

『制度的保障論の間』——」

報告者 石川健治

(東京都立大学法学部教授)

出席者 三十一名

○二〇〇一年四月二十二日(木) 午後二時より

「歴史における理性」は人類に対する普遍妥当性を要求できるか?——ヘーゲル歴史哲学の成立とその神学的—国制史的背景——」

本報告の内容は、「政策決定過程における制度運用と中央地方関係の変化(一)」「(二)」「(三)——戦後北海道開発政策を事例として——」「北大法学論集」第五〇巻第六号、第五一卷第一号、第二号(二〇〇一年)、及び「戦後国土開発政策はどのように正当化されてきたか——北海道・東北・沖縄を事例に考える——」「創文」四二三号(二〇〇一年六月)、十四頁〜十七頁、に基づくものである。